

令和7年度 外郭団体 概要・評価シート

1. 基本情報

団体名	公益財団法人 静岡市スポーツ協会			所管課	スポーツ振興課
所在地	静岡市駿河区曲金三丁目1番10号	代表者	会長 小長谷重之		設立年月日 平成元年2月22日
基本財産	368,164千円	市出資額 (基本財産等に占める割合)		300,000千円(81.5%)	
出資理由等	静岡市におけるスポーツの普及・振興と競技力向上を図り、市民の健康・体力づくりを推進し、もって健康で豊かな市民生活の育成に寄与する（公財）静岡市スポーツ協会の財政的基盤の強化を図るため。				
設立根拠法	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律				
設立目的	静岡市におけるスポーツの普及・振興を図り、スポーツの精神を培い、市民の健康・体力づくりを推進し、もって健康で豊かな市民生活の育成に寄与することを目的とする。				
業務内容	スポーツの普及・振興及びスポーツ施設の管理・運営など				

2 経営計画書の取組状況

(1) 取組実績

(令和7年度)

1	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
	スポーツイベント、教室等 開催事業	イベントの参加者数	5,300人	6,252人	
		教室等の参加者数	277,520人	207,831人	
		教室等の参加者満足度	94.3%	99.0%	
		スポーツ指導者派遣件数	31件	19件	放課後子ども教室への派遣(32件)は含まない
		ウェブサイト(イベント、教室)アクセス数	372,500PV	389,580PV	
		YouTubeチャンネル登録者数 ／Xフォロワー数	930人／440人	2,121人／582人	
		協会の実施事業に対する認知度	37.0%	23.8%	
	主要取組名称	取組概要・実績			備考
	ふれあいスポーツdayの開催	スポーツ施設を身近に感じてもらうことを目的として、各施設が企画する無料のスポーツイベント			
	各種スポーツ教室の開催	管理するスポーツ施設において、市民のライフステージに合わせた各種スポーツ教室を開催し、市民の健康増進や競技力向上を図る。			
	管理施設周辺地域でのアウトリーチ活動	インストラクターが依頼に応じて、周辺の特別養護老人ホームや公共施設へ出向き簡単な運動や介護予防のトレーニングなどを提供する。			
	団体意見	施策全体としては、7つの指標のうち4つが目標を達成し、1つが達成率70%以上となったことから、スポーツイベントや教室等の開催を通じた「ライフスタイルに応じたスポーツの推進」をおおむね図ることができたと考え。 特に、教室等の参加者満足度は99.0%(達成率105.0%)と非常に高い評価を得ている。参加者のニーズに合ったプログラムの提供や質の高い指導が、高い満足度につながっているものと考え。 一方、スポーツ教室等の参加者数については、コロナ禍以降、回復傾向にあるものの、達成率は74.9%にとどまった。また、市民アンケートにおいても、「するスポーツ」が好きであるとの回答が年々減少傾向にあることから、今後は、身体を動かすことの楽しさや健康面・生活面におけるメリットを積極的に発信し、スポーツを始めるきっかけづくりに取り組んでいきたい。 また、事業に対する認知度は達成率64.3%であったことから、今後は、他分野との連携による事業の実施やSNSを活用した広報の強化などにより、事業の認知度向上と参加者の拡大を図り、目標達成を目指していく。			
	市意見	イベントの参加者数や教室等の参加者満足度は、目標値を上回っており、質の高い事業を安定して実施していることがわかる。また、ウェブサイトのアクセス数、SNSの登録者数も目標値を達成しており、情報発信に努めていることがわかる。しかし、その内容が協会事業の認知度や教室の参加者数につながっていないため、教室のターゲットに合わせた広報の実施や市民アンケートの結果を活用した広報内容にすることで認知度向上及びイベント等の参加者数の増加に努めること。			

2	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
	トップアスリート育成支援 及びスポーツ指導者養成 事業	スポーツ振興(強化・普及)に関する 事業への支援件数	42件	44件	
		ジュニア層の育成に関する 事業への支援件数	13件	10件	申請後1件中止
		指導者の養成等に係る事業の 受講者数及び受講者満足度	75人／90.0%	実施無	
	主要取組名称	取組概要・実績			備考
	スポーツ振興(強化・普及) に関する事業への助成	スポーツ団体の育成強化、指導者の資質向上、競技力向上、市民の 健康・体力づくり及び各種競技大会、並びに教室等への助成			
	ジュニア層育成に関する 事業への助成	主な対象者を小中学生とし、競技人口の拡大、または技術の向上を図 る講習会等の実施に係る事業に対する助成			
	スポーツ指導者スキル アップ講習会の開催	指導者のみならず、指導者を目指している方やスポーツに関心がある 方の育成と、各種競技技術向上に向けて正しい知識を習得することを 目的とし、各分野の専門講座を開き、学習の場を提供する。			市からの委託が無く なり未実施となった
	団体意見	加盟団体が実施する大会等の事業については、参加者数が減少しているものの、事業数はコロナ禍前の水準にほぼ回復している。また、当協会が支援するジュニア層の育成事業は、各競技団体における競技人口の裾野の拡大やトップアスリートの育成につながる重要な事業であることから、より多くの団体を幅広く支援できるよう、加盟団体の事務局と継続的にコミュニケーションを図っている。 一方、これまで指導者講習会については、広報に力を入れた成果もあり、受講者数、満足度ともに目標を達成してきたが、令和7年度は市からの委託が無くなり未実施となった。今後は協会独自での指導者講習会等の実施についても検討していく。			
	市意見	加盟団体が実施する大会等の事業数がコロナ禍前の水準まで回復していることは、協会が加盟団体と連携して事業を実施している成果として評価できる。一方で、参加者数が減少していることは課題であり、少子化の影響がある中においても、参加者の確保に向けた取組が必要である。引き続き加盟団体とのコミュニケーションを図るとともに、事業の周知協力など、協会として、加盟団体へのさらなる協力を期待する。 指導者講習会については、受講者数や満足度が目標値に達成していたことから、需要があると考えられるため、協会独自での実施を期待する。			

施策名称		評価指標	目標値	実績	備考
スポーツ施設における利用者サービス向上事業	施設利用者数(単位:人)		1,385,210人	1,010,692人	興行が多く利用者のカウントが減少
	施設稼働率 体育館グループ アリーナ(7)		90.0%	87.8%	熱中症警戒アラートの増加
	施設稼働率 西ヶ谷総合運動場(陸・プ・野・テ)		71.0%	69.6%	
	施設稼働率 清水総合運動場(体・陸・武)		84.0%	77.6%	陸上の減少(屋外)熱中症警戒アラートの増加
	利用者満足度		96.0%	98.1%	
	管理者の瑕疵による事故発生件数		0件	1件	剣道場での練習中による怪我
	ウェブサイト(スポーツ施設)アクセス数		695,000PV	646,166PV	
	市の他の施策に貢献する事業の実施		2件	2件	・学校プール向上研究 ・放課後子ども教室
	R&R屋外スペースのイベントによる利用件数		27件	10件	民間のイベント減少
主要取組名称		取組概要・実績			備考
3	利用年間計画(優先使用)策定業務	9つのスポーツ施設を一括管理することで、利用団体が希望する日程や内容を各施設間で調整し利便性の向上に努める。			
	広報活動等利用促進業務	協会ウェブサイトを活用し、施設概要・月間予定表・各種イベント及びスポーツ教室等の情報発信に努める。			
	利用者ニーズの把握等に関する業務	施設利用者等を対象に実施したアンケート調査で寄せられた様々な意見や要望等を取り入れ、より良いサービス提供に努める。			
	団体意見	施策全体としては、9つの指標のうち6つが90%以上の達成率となり、スポーツ施設における利用者サービスの向上を通じた「スポーツを支えるための場づくり」をおおむね推進することができたと考える。 このうち、利用者満足度は98.1%(達成率102.2%)と非常に高い評価を得ている。今後も、利用者からの要望等について対応可能なものは迅速に対応し、誰もがストレスなく施設を利用できるよう、質の高い管理運営に努めていく。 一方、施設利用者数については、指定管理計画書においてコロナ禍の影響を受けない状況を想定した目標値を設定していることもあり、達成率は73.0%となった。主な要因としては、土日開催される大会等の参加者数が減少していることや、全館貸切によるプロスポーツ等の興行が増加したことに伴い、一般利用者数が減少したことが挙げられる。また、両総合運動場の陸上競技場が約半年間休場となったにもかかわらず、施設利用者数は前年度から微減にとどまったことから、全体としては回復・増加傾向にあると考える。 その他、R&R屋外スペースのイベント利用については、熱中症警戒アラートの発表が頻発していることや、暑い時期が長期化していることなどが、利用の低下につながった一因と考えている。			
	市意見	施設利用者の満足度は、目標値を達成しており、今後も利用者のニーズを的確に捉え、高い利用者満足度を継続していくことを期待する。また、施設稼働率については、全館貸切の興行の増加や施設の休業などもあり、目標を達成できていないが、すべて目標値の90%以上を達成していることから、目標達成に向け利用者ニーズを踏まえた利用促進や施設の有効活用、協会が保有するネットワークの活用及び施設利用団体との新たなネットワーク構築によって、大会・合宿を誘致しさらなる稼働率の向上に期待する。 令和6年度は、管理者の瑕疵による事故発生件数が0件だったのに対し、令和7年度は1件発生している。利用者が安全かつ安心して施設を利用できるよう、日頃から施設の安全管理を徹底するとともに、事故の未然防止を意識し、環境整備に努めること。			

(2) 施策や取組実施に係る現状分析や課題

「ライフスタイルに応じたスポーツの推進」においては、スポーツイベントや教室等の開催により、おおむね目標を達成することができた。特に、教室等の参加者満足度は99.0%と非常に高い評価を得ており、参加者のニーズに合ったプログラムの提供や質の高い指導が、高い満足度につながっている。一方、スポーツ教室等の参加者数(達成率74.9%)や事業認知度(達成率64.3%)は目標を下回っており、「するスポーツ」に対する市民の関心が年々減少傾向にあることも踏まえ、参加者の拡大や事業の認知度向上が今後の主要な課題となっている。

「スポーツを支えるための場づくり」においては、スポーツ施設における利用者サービスの向上について、利用者満足度が98.1%と非常に高い評価を得ており、一定の成果を上げることができた。一方、施設利用者数(達成率73.0%)は目標を下回っており、土日の大会参加者数の減少や、プロスポーツ等の興行による一般利用者数の減少などが主な要因となっている。また、総合運動場の陸上競技場が約半年間休場となったことに加え、熱中症警戒アラートの頻繁な発表など、気候・利用環境の変化も屋外施設の利用に影響を及ぼしていることから、今後はこうした状況を踏まえた利用促進策の検討が課題となっている。

(3) 現状分析や課題に対する対応方針・具体的な取組

現状分析や課題に対する対応方針・具体的な取組内容	対応状況
市民の「するスポーツ」への関心低下や事業の認知度不足に対しては、身体を動かすことの楽しさや健康面・生活面でのメリットを積極的に発信するとともに、他分野との連携による事業展開やSNSを活用した広報を強化し、スポーツ教室等の参加者数の増加と事業認知度の向上を図る。	対応着手
施設利用者数の減少や屋外施設の利用に対する熱中症の影響に対しては、利用者満足度の向上につながっている質の高い施設管理・運営を継続するとともに、土日の大会参加者数の減少やプロスポーツ等の興行増加による一般利用者数の減少など、利用者数の変動要因を分析する。また、熱中症対策を講じながら、利用しやすい時期・時間帯の把握や利用促進策を検討・実施し、施設利用者数の増加を図る。	対応検討中

3 団体の財務・人員の状況

(1) 収支状況(千円)

区分		R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	備 考
収入	事業収入	1,076,239	1,151,016	1,142,344	
	事業外収入	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	合 計	1, 076, 239	1, 151, 016	1, 142, 344	
(静岡市からの収入総額)		802,120	862,039	855,649	
支出	事業支出	1,107,144	1,144,971	1,143,161	
	事業外支出	0	0	252	
	その他	0	0	0	
	合計	1, 107, 144	1, 144, 971	1, 143, 413	
収支差		-30, 905	6, 045	-1, 069	

(2) 資産の状況(千円)

区分		R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	備 考
資産	固定資産	415,330	407,715	408,931	
	流動資産	263,541	261,617	248,453	
	合 計	678, 871	669, 332	657, 384	
負債	固定負債	28,014	21,093	23,204	
	流動負債	175,279	166,616	153,627	
	合 計	203, 293	187, 709	176, 831	
正味財産	基本財産／資本金	368,164	368,164	368,164	
	剰余金等	107,414	113,458	112,389	
	合 計	475, 578	481, 622	480, 553	

(3) 役員・職員の状況

ア 役員数(人)(R8.4.1)

	評議員		理事	
		内市退職者・派遣		内市退職者・派遣
常勤	0	0	1	1
非常勤	11	0	8	1
合計	11	0	9	2

イ 職員数(R8.4.1)

	正規職員	非正規職員	市退職者・市派遣	合計	備 考
R6	86	55	14	155	
R7	86	47	14	147	
R8	52	49	8	109	

(4) 財政・人員体制の現状分析や課題

燃料価格の上昇による光熱費の増加や、人件費の高騰に伴う委託費の増加などにより、厳しい財務状況が続いている。令和7年度は、静岡市による指定管理料の精算に伴う補てんがあったことに加え、常勤職員の退職後に非常勤職員を採用するなど、総人工数を維持しながら人件費支出の抑制に努めたものの、最終的に赤字となった。今後も物価や人件費の上昇が続けば、さらなる財務状況の悪化が懸念されることから、引き続き収入の増加と支出の削減を図り、安定した協会運営につなげていく必要がある。

50代以上の職員の割合が高い一方、20代から30代の職員の割合が低く、組織の高齢化が進んでいる状況にある。このような職員構成の偏りが長期化すると、将来的な人材確保や組織の活力、事業継続等に影響を及ぼす可能性があることから、若手職員の採用・育成の強化や、世代間の交流を促進する取組について検討する必要がある。一方で、現在、経常収支計画は大変厳しい状況にあることから、当面は財政の安定化を優先しつつ、中長期的な人材確保・育成について検討していく必要がある。

(5) 現状分析や課題に対する対応方針・具体的な取組

現状分析や課題に対する対応方針・具体的な取組内容	対応状況
社会情勢や政策の変化等により経営環境が変化することを踏まえ、戦略的な経営計画の策定や組織体制の強化、外部との連携、広報活動の充実などに取り組み、安定的かつ持続可能な運営体制の構築を図る。	対応検討中
スポーツ教室の実施に係る経費を見直し、外部講師に対する報償費について、事業内容や講師の実績等を踏まえた適正な水準となるよう見直しを行い、支出の適正化を図る。	対応着手
利用者のニーズを踏まえ、自動販売機による商品販売の充実を検討する。特に、栄養補助食品や菓子類など、施設利用者が必要とする食品を取り扱う自動販売機の導入を検討し、利用者サービスの向上と収入の増加を図る。	対応実施済
幼児期からスポーツに親しむことの意義や、複数の競技を経験するマルチスポーツの有用性・効果を積極的に発信し、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツ教室等の受講者の増加を図る。	対応着手
施設利用予約におけるキャンセルへの対応について、利用機会の確保や適正な施設運営の観点から、キャンセル料の設定について所管課と協議・検討を進める。	対応検討中

4 全体総括・評価

外郭団体
当初、令和3年度から令和7年度までの指定管理期間における正味財産減額は1億円前後になると予想されていたが、最終的には当初の予想を下回る結果となった。一方で、経常収益の7割以上を占める指定管理料への依存度が高く、市から指定管理業務を受託できない場合には、経営に与える影響が極めて大きい。自主財源が十分に確保できていない現状では、市からの支援や基本財産(出捐金)の取り崩し等を検討しなければ、安定した事業運営が困難となる可能性がある。このため、団体としては、経営計画書に基づく取組を着実に進め、経営基盤の強化を図る必要がある。 今後は、指定管理事業収入に依存した収入構造や、上昇傾向にある人件費を経営上の課題として捉え、自主財源の確保や人件費の適正化に向けた取組を進めるなど、収支構造の改善を図っていく。 また、団体の社会における認知度は依然として十分とはいえず、活動内容や社会貢献性についても広く理解されているとはいえない状況にある。そのため、団体の役割や活動実績、社会的な価値を分かりやすく発信するとともに、広報戦略や情報発信の方法を見直し、認知度の向上と団体価値の理解促進を図る必要がある。
静岡市
・教室や施設の利用者満足度が高い状態が継続されており、利用者のニーズを捉えた運営ができていることが伺える。今後は、協会が保有するネットワークや施設利用団体との新規ネットワーク、SNSなどの広報、施設の利用用途の拡大などにより、教室参加者数や施設稼働率をさらに向上させ、市のパートナーとして堅実な運営を期待する。 ・経営面においては、収支決算が令和6年度は数年ぶりに黒字となったが、令和7年度は再び赤字となった。職員配置適正化計画に基づく人員配置の見直しや教室の内容及び料金の見直し、施設運営の効率化など安定的な経営に向けて改善を進めるとともに、自主財源の確保に取り組み、黒字化を目指すこと。 ・今後も、協会が保有するネットワークやノウハウを活用し、部活動の地域展開やユニバーサルスポーツの聖地化の推進などの市の施策についても積極的な協力を求めていく。